様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	1,035 時間	240 時間	
	柔道整復スポーツトレーナー学科	夜・通信	300 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	450 時間	160 時間	
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページの情報公開ページにて公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験の関する確認欄あり。https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人　大阪滋慶学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大阪大学大学院医学系研究科　教授 （2006.1.1～　）	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会医療法人弘道会　理事長 （2010.4.1～）	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林病院院長 （2016.4.1～　）	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 本校シラバスについては、学園統一の様式においてシラバスを作成している。各授業科目については、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容（予定）について、詳細に記載することになっている。例年、学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の各年度における運営や教育における目標を共有し、各学科における学年ごとの到達目標や科目目標を共有し、担当科目講師ごとに作成している。 特に卒業年次に国家資格を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映するように共通認識を持つようにしている。また試験規程や成績評価についても規程を基に統一見解をもつようにし作成している。 シラバスの公開については、各年度開始までにホームページを通じて公開するとともに授業毎に担当講師によって公開することとしている。

授業計画書の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 授業科目の成績評価については、各科目において、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して評価し履修認定している。またレポートや実技試験などに対する評価も同様に評価することとしている。ただし、各授業科目の授業時数の３分の１以上を欠席した者は、当該授業科目についての評価を受けることができない。 また学習意欲の把握については、学期毎にカリキュラムアンケートを実施し、学生による授業評価を実施している。それらアンアケートには、学生自身の学習に対する姿勢についても確認する項目も設定しており、それから把握している。 これら事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学習の評価基準は、素点 70%、出席評価点 20%、平素評価点 10%としている。 それらの評価基準を基に学習の評価を優（80 点以上）、良（70 点以上 80 点未満）、可（60 点以上 70 点未満）、不可（60 点未満）としている。 GPA（GP:Grade Point Average）評価に関しては、評価結果を 5 段階評価（A から E）に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、各学生個人の GP を算出し、各学科の成績分布を示している。 なお成績評価方法については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載し下記 URL にて公表するほか、入学時のオリエンテーションにて学生には通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/004.pdf
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業認定を実施している。 また卒業時の人材育成目標については、ディプロマ・ポリシーを策定し、ホームページ上で公表している。 またこれらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める課程の修了の認定において、詳細に記載し下記 URL にて公表することとしている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/002.pdf https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/edu_goal/001.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療分野		医療専門課程	看護学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2895単位時間/103単位	1995時間	0時間	900時間	0時間	単位時間/単位
			2895単位時間／103単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	113人	0人	9人	44人	53人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）昼間部3年制にて前期・後期の2期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して4段階の学習の評価をしている。またGPA評価については、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、GPを算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなく保護者実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 （ 100%）	2 人 （ 8.7%）	21 人 （ 91.3%）	0 人 （ 0%）
（主な就職、業界等）病院、クリニック、福祉施設			
（就職指導内容）入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。			
（主な学修成果（資格・検定等））看護師国家資格取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97 人	4 人	4.1%
（中途退学の主な理由）進路変更や学力不振等		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 　入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。 　また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療分野	医療専門課程	柔道整復スポーツトレーナー学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3805単位時間/193単位	2440時間	150時間	435時間	0時間	780時間
			3805単位時間／193単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
90人	53人	0人	8人	12人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）昼間部3年制にて前期・後期の2期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・演習・実習・実技にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。

成績評価の基準・方法

（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して4段階の学習の評価をしている。またGPA評価については、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、GPを算出し、各学科の成績分布を示している。

卒業・進級の認定基準

（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。

学修支援等

（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを各科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなく保護者や学科責任者を踏まえ面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
5人（100%）	0人（0%）	4人（80%）	1人（20%）

（主な就職、業界等）整骨院

（就職指導内容）入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。

（主な学修成果（資格・検定等））

日本赤十字社救急法救急員、健康運動実践指導者

（備考）（任意記載事項）

・2019年4月1日以前に入学した者については、なお従前の例による。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	4 人	12.1%

（中途退学の主な理由）
進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。
入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。
また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心
がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。

分野		課程名	学科名			専門士		高度専門士
教育・社会福祉分野		教育・社旗福祉専門課程	介護福祉学科			○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2542 単位時間/114 単位	1410 時間	660 時間	472 時間	0 時間	0 時間	
			2542 単位時間／114 単位					

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	5 人	0 人	3 人	9 人	12 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）昼間部 2 年制にて前期・後期の 2 期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義・実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。

成績評価の基準・方法

（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して 4 段階の学習の評価をしている。また GPA 評価については、評価結果を 5 段階評価（A から E）に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、GP を算出し、各学科の成績分布を示している。

卒業・進級の認定基準

（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業ならびに国家試験受験資格を認定している。

学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。状況を判断し、学生面談のみでなく保護者や学科責任者を踏まえ面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 （　100%）	0 人 （　0%）	6 人 （　100%）	0 人 （　0%）
（主な就職、業界等）福祉業界			
（就職指導内容）入学当初より段階的な職業観の育成を開始。卒業年次からは履歴書添削、面接指導などを徹底しております。			
（主な学修成果（資格・検定等））介護福祉士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
2019 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。 また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	100,000 円	700,000 円	385,000 円	実習費・設備費等
柔道整復スポーツトレーナー学科		800,000 円	385,000 円	実習費・設備費等
介護福祉学科		700,000 円	375,000 円	実習費・設備費等
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
＜大阪滋慶育英会＞入学者本人、または親兄弟姉妹が本校を含む大阪滋慶学園に在籍、卒業している場合、奨学金の 10 万円を支給する。				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） URL：https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に行われたかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、設置学科に関連する企業・団体、卒業生、保護者など、学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体を確保するため、業界関係者、卒業生、保護者等学校関係者から規程に基づき選任した委員による「学校関係者評価委員会」を設置し「学校関係者評価」を実施する。当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善への取組をホームページに掲載し広く社会へ公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人　岡山県看護協会	2022 年 4 月～2023 年 3 月	職能団体
公益社団法人　岡山県柔道整復師会	2022 年 4 月～2023 年 3 月	職能団体
一般社団法人　岡山県介護福祉士会	2022 年 4 月～2023 年 3 月	職能団体
美作市市議会議員	2022 年 4 月～2023 年 3 月	地域
学校法人美作学園岡山県美作高等学校	2022 年 4 月～2023 年 3 月	高等学校
医療法人三水会　田尻病院	2022 年 4 月～2023 年 3 月	卒業生
―	2022 年 4 月～2023 年 3 月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） URL：https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.msmn.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人　大阪滋慶学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		11人	18人	21人
内訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				21人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	–
３月以上の停学	0人
年間計	–
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。